

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所きりんくらぶ		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月14日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に沿った活動プログラムによる課題の取り組み。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域を視点とした活動の実施。</li> <li>・担当職員による活動の目的・着地点の説明。</li> <li>・職員間のミーティングによる子どもの特性理解。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動実施前の意見交換と実施後の反省会などによるブラッシュアップ。</li> <li>・研修や他事業所見学の実施による職員のスキルアップ。</li> </ul>
2	保護者とのコミュニケーション。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別面談や日常連絡の実施。</li> <li>・定期的な保護者会（ピア交流会やペアレントトレーニングなど）開催による家族支援の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が知りたい内容の聞き取りや、保護者に必要だと思う内容を職員間で共有し、保護者会を企画する。</li> <li>・親子参加企画による保護者会への参加率の向上。</li> </ul>
3	様々な職種、経験のある職員の配置。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員ミーティングによる情報の共有。</li> <li>・外部研修の参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員それぞれの得意分野を業務や活動立案に生かしていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内での活動が主になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの特性を考慮し、室内活動を重視しているため。</li> <li>・異年齢の活動の為、屋外での安全確保が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏庭を利用して、花や野菜の生育観察を活動に取り入れる。</li> </ul>
2	活動内容や指導の方法が固定化されやすい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内だけの取り組みで視野が狭くなりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所を見学し、現状を見直して良い所を取り入れていく。</li> <li>・当番制リーダーによる多様な活動の実施。</li> </ul>